



Triggerfish 水中スクーター

クイックスタートガイド v0.3

本製品はプロフェッショナル向けの水中機器であり、適切な訓練を受けた方のみが使用してください。

使用者は、操作手順・潜在的なリスク、および緊急時の対応方法を十分に理解してからご使用ください。これを怠ると怪我や死亡事故につながる恐れがあります。使用前には必ず機器の点検を行い、使用後も適切なメンテナンスを行ってください。（手順はマニュアルをご参照ください）

この機器を使用する際は、標準的なダイビングの安全手順を厳守してください。呼気ガスおよびバッテリーの管理において「3分の1ルール」を必ず守り、常にバックアップを用意してください。これは危険な状況を回避し、安全な潜水を確保するために極めて重要です。

目次

1. 開封・付属品の確認
2. チェックリスト
3. 点検
4. 基本的な組み立て
5. バッテリー
6. ノーズカバーの取り付け
7. 電源オン
8. 牽引ラインの使用
9. トリガーロックのロック／解除
10. 加速／減速
11. ターボ
12. 潜水前の点検および潜水後の清掃・メンテナンス

1. 開封

Triggerfish 水中スクーターは以下の2つのパーツに分かれて梱包されています：

- メインユニット（テールユニット）
- ノーズカバー付きバッテリーチューブ

受け取り後、梱包内容と部品の破損がないかをご確認ください。

警告：運搬時にはバッテリーをチューブ内に装着したまま運ばないでください。

2. チェックリスト

以下の付属品がすべて揃っているかをご確認ください：

1. 牽引ライン
2. T25レンチ
3. ノーズキャップ[°]
4. POWERGX 次世代ボルトスナップ[°]
5. 海水用ウェイトボックス

3. 点検

使用前に、Triggerfish 水中スクーターの外観や部品に破損や欠品がないかを確認してください。

4. 基本的な組み立て

1. バッテリーハウジングの底部のコネクタープラグを、メインユニット内のプラグ（オレンジ色）に接続します。
2. バッテリー収納部の2つのOリングが損傷していないか確認し、シリコングリスを塗布し、シール処理をします。
3. バッテリーハウジングの矢印をメインユニットの矢印と合わせ、しっかりと押し込みます。
 - 内部のケーブルが干渉して押されていないことを確認してください。
 - Oリングに異物が挟まっていないことを確認し、適切な密閉状態を保ってください。
4. 必要に応じて、ノーズ部分に追加のボルトスナップを取り付けてください。



5. バッテリー

1. 専用のPTBバッテリーを使用してください。

2. 装着前に、すべてのバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

警告：

- 充電済みと未充電のバッテリーを混ぜて使用しないでください。
- すべてのバッテリーを正しく装着してください。「カチッ」という音で正しく装着されたことを確認できます。

※ 起伏の多い環境で運搬する場合は、損傷防止のためバッテリーを外してください。

6. ノーズカバーの取り付け

本体の矢印ステッカーに従って、ノーズカバーを正しい向きに装着してください。しっかりと固定されていることを確認します。



7. 電源オン

テールユニット側部にある、赤色のメイン電源スイッチで電源を制御します。

このスイッチで電源をいつでも遮断可能です。

- 時計回りに回すと電源オン
- 反時計回りに回すと電源オフ



スイッチの上にある電源インジケーター ライトで状態を確認し、使用前に必ず電源の状態をチェックしてください。



8. 牽引ラインの使用

牽引ラインは、ダイバーを水中で牽引するために使用します。（通常、股がけハーネスのDリングヘボルトスナップをクリップするか、専用ハーネスへクリップして使用します。）

スクーターには、カバーアンダーパネル下部とハンドルベース下部の2箇所に取り付けポイントがあります。

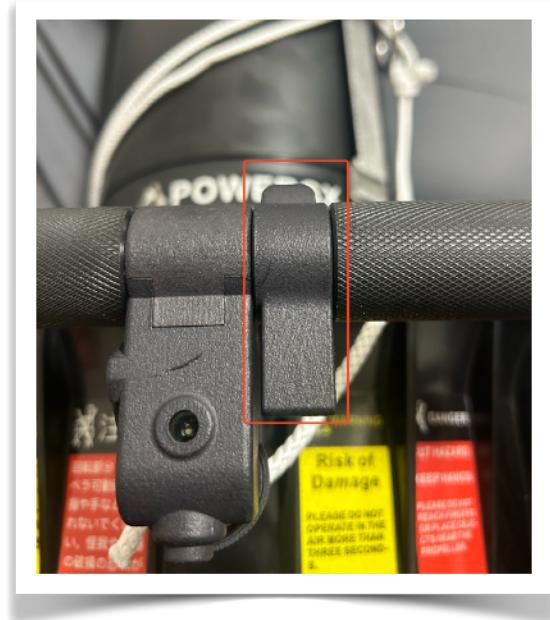


9. トリガーロックのロック／解除

Triggerfishのトリガーには「ロック状態」と「解除状態」があります。

- 解除状態：トリガーを自由に操作可能。
- ロック状態：定速クルーズまたは完全ロックが可能。

警告：牽引ラインがトリガーロックに絡まないよう注意してください。



10. 加速／減速

Triggerfish 水中スクーターは1～7段階のギアで速度を調整できます。

ギアダイヤルを回すことで加速／減速を調整できます。

※ 本機は水中において一定速度で動作するため、空中での動作は禁止です。シール部品を損傷する可能性があるため、必ず水中で動作させてください。

11. ターボ

動作中に「ターボ」ボタンを押すと、ボタンを押している間は最大出力で運転します。（7速よりも早いターボモードが作動）

※ ターボモードはバッテリー消耗が早くなるため、使用は必要時のみにしてください。

12. 潜水前の点検・潜水後の清掃およびメンテナンス

潜水前：

1. Oリング（ノーズカバーとバッテリーハウジングの2箇所ずつ）をチェック
2. バッテリー室のシールプラグが正しく装着されているか確認
3. バッテリーが正しく装着されていることを確認
4. スイッチをオンにした際、本体のバッテリーインジケーターが正しく動作しているかご確認ください

バッテリーインジケーターは最初の5秒間、システムの内部点検を行っている間は白色で点滅し、問題が無ければ長めに点滅をした後にバッテリー残量を表示します。

バッテリー残量の表示：

80～100%： 緑色

50～80%： 黄色

20～50%： 赤色

0～20%： 赤色点滅（20%以下ではギアが固定され、クラウンで約30分、タイタンで約60分継続使用可能です。）

潜水後：

1. 海水や砂のある環境で使用した場合は、真水に本体全体を浸けて30秒程度動作させ、シール部品に残った異物を洗い流してください。
2. 表面の残留物を拭き取り、または圧縮空気で清掃してください。

3. ノーズカバーを外し、バッテリーを取り出して乾燥した環境に保管してください。※ノーズカバーを外す際はチューブ内部への水の侵入を防ぐため、本体を水平にして取り外してください

Triggerfish 水中スクーターをお選びいただきありがとうございます。

楽しい水中の旅と安全な帰還をお祈りしています。

ご不明点があれば、カスタマーサービスまでお気軽に問い合わせください。